

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31102	キャリアデザイン I Career design I	古橋 敬一		基礎	1	必修	1前期
科目の概要							
<p>キャリアとは、私たちがこれまでに、またこれから歩んでいく人生の道筋のことを指します。人と社会を見つめ、自らの人生をどう歩んでいくのかを考えること、行動していくことは現代社会を生きる上での必須のスキルです。キャリアを形成していくことは、そうした人生の道筋を切り拓いていくためのスキルを理解し、それを高める方法を個々人が獲得していくことです。講義では、学生の皆さん一人ひとりが、自分のキャリアやスキルの重要性を理解し、社会人基礎力及びpisa型学力を高めていくための方法を探究します。学生のみなさんが、この社会で、どう働き生きていくのかを一緒に学んでいきましょう。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① キャリア形成の考え方について理解する。 ② 現代社会に求められる人材像を認識する。 ③ 働き方と生き方を結びつけていく思考方法を身につける。</p>				<p>① 自己のキャリアをデザインするための思考が理解できるようになる。 ② 社会人基礎力の概要を理解し、目的意識を持てるようになる。 ③ キャリア形成に際して、働き方と生き方を結ぶ思考ができるようになる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自己のキャリアを考えていくための知識と教養を積極的にリサーチし自己学修した上で、記述できる。					
	働きかけ力	目標に到達するための道筋を見極め、他者のサポートが必要であれば、それを依頼することができる。					
	実行力						
考え抜く力	課題発見力	問題の構造を読み解き、適切な課題を発見し、解決に挑むことができる。					
	計画力						
	創造力	キャリアを考える際に、既成概念に捉われず、多様な視点から思考することができる。					
チームで働く力	発信力	状況を的確に把握し、魅力的な情報発信ができる。					
	傾聴力	講義の中で行われるコミュニケーションワークに積極的に参加し、他者の意見を尊重しつつ、更に自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、講義が円滑に進行できるように規律を守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。 参考文献：「自分の仕事をつくる」筑摩書房、1900円</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連:キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、キャリアデザインⅣ、インターンシップ 資格関連性: 情報処理士、ビジネス実務士</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>学生同士で互いの将来について語り相談できる関係性を構築することが大切です。そうした関係性こそが、自分のキャリアを考えていく上での重要な資産になります。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・6回以上の欠席で自動的に失格とします。 ・講義への積極的な参加を奨励します。 ・講義への欠席や遅刻については、事前あるいは事後にでも理由をお知らせください。講義内容のフォローをします。 ・無断の遅刻や欠席は原則として禁止とします。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	キャリアをデザインする思考について、社会人基礎力に関連する講義内容について、キャリア形成において自身の働き方と生き方を結びつける思考ができているのかについて、それぞれの内容を理解し、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ポイント：①問題を適切に捉えて、それに対し自らの意見を主張できているか。 ②重要なポイントを押えているか。		
			②	✓			
			③	✓			
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	20	①		✓	授業の理解度を測る意味も込めて、「授業の復習・感想」に関するレポート（400字～600字程度）を、自分の考えを理解してもらえらることを意識して、自らの言葉で作成する。
				②		✓	
③				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
	③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）指示がなくても自ら予復習（事前・事後学習）を行うことができる。 （実行力）レポート提出などで目標に向かって進むことができる。 （課題発見力）問題の構造を把握し、適切な課題を発見することができる。 （創造力）新しい発想の下、課題に取り組むことができる。 （発信力）文章作成時などにおいて整理した内容を的確に表現できる。 （傾聴力）大事な箇所は教科書の空白部等へ書き込み、確りと聞くことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如を来す行動をせず、ルールを守ることができる。・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業態度に積極性が認められる。筆記試験で、授業要点を8割以上理解し、説明できる。自己の見解を論理的に記述することができる場合はA（優）とする。自己の見解に提言を含み、論理的に記述できる場合はS（秀）とする。	授業態度に規律性が認められる。レポートが提出されている。筆記試験で、授業要点を6割以上理解し、説明できる。自己の見解を付加することができる場合をB（良）とし、感想にとどまる場合はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション、キャリアデザインについて学ぶ。	講義	本講の狙いと講義を受講するにあたっての心構えルール等を理解する。また、キャリアとは何か、それを考えることがなぜ重要なかを展望する入り口に立つ。	事前にシラバスを読み、自分の今と将来について考えてみる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	現在地を理解し、コンパスを持つ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	自分の現状を評価する視点について理解する。	自分の本当の問題についてじっくり考えてみる。またワークライフバランスを振り返ってみて、人生観や仕事観について考えてみる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	自分の能力について考える。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	自分が熱中しているときの様子を客観的に記録し観察する方法を理解する。	自分が熱中しているときの様子を振り返ってみる。その様子を客観的に観察し、まとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
4	自分の仕事とは何か。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	自分の仕事を社会やコミュニティとの関わりの中で考えることができる。	自分のやりたいこと、すべきこと、できることについて考え、その背景にある社会との関わり方についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
5	自分が惹かれる仕事について考える。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	自分がなぜその仕事に惹かれるのかについて理解している。	自分がなぜその仕事に惹かれるのかについて説明できるようにする。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	自分が惹かれる仕事について話し合う。	講義 グループワーク 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	自分がなぜその仕事に惹かれるのかについて話し合った内容を理解している。	自分がなぜその仕事に惹かれるのかについて話し合った内容を説明できるように発表資料を作成する。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	自分が惹かれる仕事について発表する。	講義 プレゼンテーション 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	自分の発表ができて、それに対する意見を真摯に聞き、自分なりに理解できている。	自分が発表した内容にたいし、もらった意見をまとめてふりかえっておく。印象的だった発表についての自己見解をまとめておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 規律性
8	年代別キャリアデザインを学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	就活前の大学生がキャリアをデザインするときに重要な視点を理解する。	年代別のキャリアデザインについて振り返ると共に、今すべきことは何かを理解し、まとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	偶発性を計画することについて学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	キャリアが偶発性に支 配されていることを理 解する。	偶発性を計画化する方 法を理解し、自分に起 こってほしいチャンス について再度考える。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
10	仕事に求められる力に ついて学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	仕事に求められる力の 各カテゴリについて理 解している。	仕事に求められる力の 各カテゴリについて理 解し説明できるように する。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
11	対人能力について学 ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	対人能力について理解 する。	対人能力について理解 し、説明できるように する。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
12	対自己能力について学 ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	対自己能力について理 解する。	対自己能力について理 解し、説明できるよう にする。	90	主体性 課題発 見力 発信力 規律性
13	対課題能力について学 ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	対課題能力について理 解する。	対課題能力について理 解し、説明できるよう にする。	90	主体性 課題発 見力 発信力 規律性
14	情報処理と論理的思考 について学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	情報処理と論理的思考 について理解する。	情報処理と論理的思考 について理解し、説明 できるようにする。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
15	総括	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	ここまでの講義トピッ クの有機的な接続につ いて理解する。	プリントやノートを再 読し、自己の考えをま とめる。	90	主体性 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力